

インクルーシブ保育のフロントランナーどろんこ会  
～これまでの試行錯誤と実践を全て詰め込んだ1冊～

『子どもも大人も混ざり合う 児童発達支援 x 保育所等の併設で創るインクルーシブ保育』

中央法規出版より2025年4月20日に書籍発売

社会福祉法人どろんこ会（本社：東京都渋谷区／理事長：安永愛香）は2025年4月20日（日）、中央法規出版株式会社より書籍『子どもも大人も混ざり合う 児童発達支援 x 保育所等の併設で創るインクルーシブ保育』を発行いたします。



## 書籍概要

1998年の創業より、障害の有無にかかわらず、全ての子どもに「にんげん力」を育むための保育を実践してきた社会福祉法人どろんこ会。2015年に初めて東京都世田谷区に認可保育園と児童発達支援事業所を立ち上げました。以来、一つ屋根の下で双方の子どもが共に生活する併設施設を推進すべく、前例のない中、試行錯誤しながら全国の自治体で開設をしてきました。

本書籍には、「インクルーシブ保育のフロントランナー」として、これまで積み上げてきたインクルーシブ保育の現場実践、そして併設開設までの進め方などのノウハウを全て詰め込みました。

写真をふんだんに盛り込み、子どもの表情からインクルーシブ保育の日常が手に取るように分かるような内容です。また職員、併設施設を利用している保護者のリアルな声も収めています。

保育園・児童発達支援施設経営者のもとより、現場で保育を実践する保育士や専門職員、少子化による保育園の空きスペースを検討している自治体の方など、インクルーシブ保育に関心のある方にとっては必読の著。間違いなくこれからの保育の新しい指標となる1冊です。

# 主な目次

## 第1章 インクルーシブ保育とは何か

- インクルーシブ保育を実践する併設施設
- インクルーシブ保育を支える基本の考え方1 混ざり合う
- インクルーシブ保育を支える基本の考え方2 「療育」という言葉は使わない
- インクルーシブ保育を支える基本の考え方3 頼り合い、手を差し伸べ合う
- インクルーシブ保育を支える基本の考え方4 大人が背中を見せる 等

## 第2章 多様性を認め・支え合う どんご会の生活

- 1日の保育・年間の保育
- 朝の日課
- 外遊び
- 室内遊び
- 生き物とのかかわり
- 畑仕事・田植え・稲刈り
- 縁側で食べるバイキング給食 等

## 第3章 インクルーシブ保育を可能にする働く環境づくり

- 意識改革1 「分けない」意識をつくる
- 意識改革2 保育と児童発達支援の違いを知る
- 意識改革3 全ての大人が全ての子どもを育てる
- 意識改革4 個を見る専門性を集団でも生かす
- 仕組みづくり1 理念の共有と年間計画の策定
- 仕組みづくり2 シフトの見える化
- 仕組みづくり3 双方支援を実現させるための学び合い
- 仕組みづくり4 学んで教えて、また学ぶ

## 第4章 インクルーシブ保育施設をつくるには

- 併設施設のタイプ
- 併設施設をつくるための基礎知識1 国・自治体の動き
- 併設施設をつくるための基礎知識2 手続きについて
- 併設施設をつくるための基礎知識3 お金について
- 事例1 認可園の空きスペース転用
- 事例2 児童発達支援センターの民営化
- 事例3 保育園・児発・放デイ・学童の併設

インクルーシブ保育を支える基本の考え方③  
頼り合い、手を差し伸べ合う

それぞれの得意・不得意を知り助け合う

発達支援を利用することで、子どもができることが増えたと期待される保護者も多いためです。実際に併設施設に通ううちに、それまでできなかったことができるようになる子は多く見られます。ですが、併設施設に通ってインクルーシブな環境で生活することの本意の意図はそこではありません。障害の有無にかかわらず、できないこと、苦手なことは誰にでもあります。乳幼児期から好きなこと・得意なことを探求し、知る経験がたくさんしたうえで、自分の不得意なことについては「助けてほしい」と伝えられるような経験を積み重ねることが大事なのではないのでしょうか。

子どものうちに、まわりの助けを必要とする手もついでに、そしてまわりは助けてもらう体験をしていくことは、人とつながっていくために必要です。

自分で経験して  
自分の「好き・嫌い」を知る

障害のある子は、苦手なもの、嫌いなものを無理にやらせられた経験があるかもしれません。しかし、それは、いろいろな年齢の子どもが経験している環境で「これが好き、これは嫌い」と自分で気づいて、判断する過程が重要ではないでしょうか。



異年齢で広がる関係性

クラス別の保育と比べると、異年齢保育ではより多くの子どもとのかかわりが生まれます。得意な活動も、苦手な活動もそれぞれのペースで進めながら、頼り合い、手を差し伸べ合うとらごのインクルーシブ保育において、異年齢保育は不可欠な要素の一つです。

頼り合い・助け合い

頼り合い・助け合いには、小さな生き物がたくさんいます。鳥と鳥のコミュニケーションも生き物含みなど、子どもたちは自然に交流を促しています。

ある日の出来事

仲良く遊んで、突然「おっちゃん」と異年齢に向けて遊ぶ姿がありました。何度も繰り返して遊んでいました。職員も様子を見守りました。この日は、お言葉もかけてみました。お言葉もあやまらずに遊んでくれたらいいなと思っていました。その日の終わりに、「職員や子どもたちが遊んでくれて、お言葉もあやまらずに遊んでくれたらいいなと思っていました。その日の終わりに、「職員や子どもたちが遊んでくれて、お言葉もあやまらずに遊んでくれたらいいなと思っていました。」と、お言葉もあやまらずに遊んでくれたらいいなと思っていました。



併設施設のタイプ

併設施設をつくるための基礎知識1 国・自治体の動き

併設施設をつくるための基礎知識2 手続きについて

併設施設をつくるための基礎知識3 お金について

事例1 認可園の空きスペース転用

事例2 児童発達支援センターの民営化

事例3 保育園・児発・放デイ・学童の併設

職員室はフリーアドレス

各年度末には、保育園と併設の職員室を新しくし、フリーアドレスにしました。職員の働きやすさを優先してフリーアドレスにしました。また、職員の働きやすさを優先してフリーアドレスにしました。また、職員の働きやすさを優先してフリーアドレスにしました。また、職員の働きやすさを優先してフリーアドレスにしました。

ある日の日常

一つの部屋を使っているのに、気が付いたら隣の部屋で「おっちゃん」が遊んでいました。職員も様子を見守りました。この日は、お言葉もかけてみました。お言葉もあやまらずに遊んでくれたらいいなと思っていました。その日の終わりに、「職員や子どもたちが遊んでくれて、お言葉もあやまらずに遊んでくれたらいいなと思っていました。」と、お言葉もあやまらずに遊んでくれたらいいなと思っていました。



## 書籍情報

- 書名：子どもも大人も混ざり合う 児童発達支援 x 保育所等の併設で創るインクルーシブ保育
- 発売日：2025年4月20日(日)
- 出版社：中央法規出版株式会社
- 著者：社会福祉法人どろんこ会
- 通常価格：2,860 円（税込）
- 単行本：128ページ
- ISBN-10：4824302021
- ISBN-13：978-4824302021
- 寸法：18.2 x 1.2 x 25.7 cm



## 販売について

全国の書店、Amazon、楽天等のネット書店で販売中です。[www.amazon.co.jp/dp/4824302021](http://www.amazon.co.jp/dp/4824302021)

## どろんこ会グループについて

どろんこ会グループ（社会福祉法人どろんこ会、株式会社日本福祉総合研究所 理事長・代表取締役 安永愛香／株式会社ゴ－エスト、株式会社南魚沼生産組合、株式会社Doronko Agri 代表取締役 高堀雄一郎）は全国約180箇所に認可保育園、認証保育所、事業所内・院内保育所、学童保育室、地域子育て支援センター、児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、就労継続支援B型事業所などを運営。次代を担う子どもたちの「にんげん力」を育む体験型保育・自然保育を行う。幼児期の性教育や男性保育士比率の高さなど、各種メディアでもその取り組みが紹介されている。1998年設立。職員数約2300人（2024年7月）。施設利用者数約11000人（2024年3月）。

HP： <https://www.doronko.jp/> Facebook： <https://www.facebook.com/dorankokai/>  
X： [@doronko\\_offical](https://twitter.com/doronko_offical) Instagram： [@doronko\\_official](https://www.instagram.com/doronko_official)  
Youtube： [https://www.youtube.com/@doronko\\_official](https://www.youtube.com/@doronko_official)

### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

どろんこ会グループ （東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル13F）  
広報部 松本 TEL：03-5766-8059 Email：koho@doronko.jp